

令和5年度

代 議 員 総 会  
議 事 録

令和5年5月21日

一般社団法人 山口県介護支援専門員協会

# 令和5年度 一般社団法人山口県介護支援専門員協会 代議員総会

## 議 事 録

### 1 日 時

令和5年5月21日（日）午後1時から午後2時まで

### 2 会 場

山口県社会福祉会館 大ホール（山口市）

参集およびwebによる開催（使用ソフト：zoom）

### 3 出席者

58人（内Web表決者は29人、委任状提出数22人）

### 4 内 容

報告事項

理事の辞任について

上程議案

第1号議案 令和4年度事業報告について

第2号議案 令和4年度決算報告について

第3号議案 令和5年度事業計画（案）について

第4号議案 令和5年度収支予算（案）について

### 5 審議の経過

佐々木会長挨拶の後、橘副会長に進行していただく。

橘副会長

参集及びwebのハイブリッド形式で開催とすることを説明。

Web参加者へWeb会議システム（インターネット回線を使用した音声と映像を伝達するシステム）により、一堂に会するのと同等に適時、的確な意見表明が互いにできる状態になっていることを確認した。

代議員総数63名に対し、当日参加者36名、委任状総数22通、委任状を含めた会員出席数が58名となり、定款第26条の規定を満たしており、会議が成立していることを報告した。また、定款第25条に則って宇部市の赤川氏が議長に選出された。

議 長

続いて、総会議事録署名人の選出について、議長指名とすることを満場に諮り、全員異議なく、次の出席者を指名した。

久野 陽一郎

小峯 千香

続いて、報告事項 理事の辞任について佐々木会長より説明いただく。

佐々木会長

周防大島協議会の下野忍理事が退職のため理事を辞任する。任期途中のため、協議会で後任者の選任について検討されたが、選任が難しいとの申し出が周防大島の会長よりあった。選出時に予め補欠を選任していない状態で、理事の人数は定款31条により下限の人数を定めていないため、令和5年度は1名欠員の体制で進めて行くことについて理事会で承認を受けている。後任者の選出がない場合、当会の理事会等へは

協議会会長にオブザーバー出席を依頼し、県協会の情報等を伝達していただく形としているのでこの場で報告する。

議 長 報告事項について質疑がなかったため、議案審議に入る。第1号議案「令和4年度事業報告について」及び第2号議案「令和4年度決算報告について」の両議案については、相互に関連があるので、一括上程することについて、満場に諮ったところ、全員異議なく、両議案を一括上程し、第1号議案については佐々木会長に、第2号議案については事務局に説明を求めた。

佐々木会長 第1号議案「令和4年度事業報告について」説明した。

事務局 第2号議案「令和4年度決算報告について」説明した。

議 長 ここで、令和4年度決算報告について、二井監事より監査報告を求めた。

二井監事 令和4年度事業の執行状況について、令和5年4月21日に服部監事と監査を行った。その結果、事業報告書、収支計算書、貸借対照表、財産目録は会の状況を正しく示し、不整の点はないことを報告した。

議 長 第1号議案及び第2号議案に関し、一括質疑を求めたが、意見が無いため、第1号議案「令和4年度事業報告について」及び第2号議案「令和4年度決算報告について」満場に諮ったところ、全員異議なく、両議案とも原案どおり可決承認された。

次いで、第3号議案「令和5年度事業計画（案）について」ならびに第4号議案「令和5年度収支予算（案）について」も相互に関連があるので一括上程することについて、満場に諮ったところ、全員異議なく、両議案を一括上程し、第3号議案については佐々木会長に、第4号議案については事務局に説明を求めた。

佐々木会長 第3号議案「令和5年度事業計画（案）について」事業方針、重点目標、会全体としての事業計画について説明した。

事務局 第4号議案「令和5年度収支予算（案）について」収入の部・支出の部の科目ごとに予算額を説明した。

議 長 第3号議案及び第4号議案に関し、一括質疑を求めた。

辻中氏（下関市） 令和5年度事業計画案の5. 研究事業の中に、介護支援専門員の現状把握、アンケート調査の項目があるが、サービス付き高齢者向け住宅のケアマネジメントに色々な問題があり、5月11日付、財政審（国）の中の介護にサービス付き高齢者向け住宅におけるケアマネジメントの適正化が出ている。内容としてはこれまで行ったケアプラン点検で、画一的なケアプランや、過剰なサービスの問題事例が見つかるが、サービスの見直しに繋がった例は多くないとされている。要因はサ高住の運営者との関係で見直しが進まないことが言われている。サ高住に入居している利用者のケアマネジメントについて、それ以外と比較をすると所要時間が3割少ないことや、サ高住のケアプランは手間がかからないという数字が出ている。サ高住でのケアマネジメントの適正化、同一建物減算等が出ているため、下関市で平成27年度に通常の居宅介護支援事業所が支給限度額の何%を利用者が使用しているか調査を行った。それ以降の調査はないが、支給限度額が90%を超えるような、支給限度額ありきの事業所がどのくらいあるのか県をあげて調査を行って欲しい。県だけでなく各市町単位で正しく把

握ることが必要である。市と事業所団体の行った調査内容が同じであれば問題なく、実態を正しく把握しておくことが重要と思われるため、機会があれば取り組んで欲しい。

佐々木会長 調査研究部で研究の質が高まっており、大学講師の協力もあり適切な研究が出来、実態が調査できるように思われる。

藤本氏 研究の質が上がる中で調査研究部として会員へ返せること、市、県、国に示せることを行っていきたいと考えている。今年度研究の進め方研修を受け研究に取り組むため、一つのテーマとして選択肢に入れる。

辻中氏（下関市） 研究でなくとも調査で十分のため、正しい数値が出るよう調査を進めてほしい。

議長 その他、質疑を求めたが意見が無いため、第3号議案「令和5年度事業計画（案）について」及び第4号議案「令和5年度収支予算（案）について」満場に諮ったところ、全員異議なく、両議案とも原案どおり可決承認された。

以上で、すべての審議事項について、すべて終了したことを告げた。  
議案審議が円滑に進行したことに対し、謝辞を述べ閉会を宣した。

橋副会長 日本協会全国大会が栃木県宇都宮市で10月21日（土）、22日（日）に開催される。参加される方は参加費補助があるため申請いただきたい。演題発表の募集期間が延長され、発表者へは移動費の補助も行っているためHPから詳細を確認いただく。

山口県ケアマネジメント研究大会について、例年より開催時期が遅くなり、令和6年3月24日（日）に開催を予定している。全国大会で講演いただいた日本女子大学の渡部律子先生に来県での講演をいただくことで調整している。

法定研修の講師が不足している状況で、質の担保の観点からファシリテーターの養成に取り組むこととなった。各地域協会へ周知を行っているため、興味、関心がある方は7月8日（土）に開催されるファシリテーター養成研修会に参加して欲しい。

と き 午後2時00分

この議事録が、正確であることを証するため、署名捺印する。

令和 5年 5月21日

一般社団法人 山口県介護支援専門員協会

会 長 \_\_\_\_\_ 印

署名人 \_\_\_\_\_ 印

署名人 \_\_\_\_\_ 印